

光市エコオフィスパラン平成19年度実行結果

1 全体結果

エコオフィスパランで掲げる削減目標項目の結果一覧です。

灯油、A重油、LPG、可燃ごみ袋においては、エコオフィスパランの目標年度である平成22年度の目標値をクリアしました。また、水道についても、平成19年度の目標値をクリアしています。個別項目では電気、ガソリン及び軽油が平成19年度の目標値を達成できませんでしたが、燃料使用量全体としては、平成22年度の目標値を上回る結果となりました。

対象項目	個別項目	H19 目標値	実施結果	達成状況	エコオフィス プラン目標値 (H22)
電気使用量	電気	各使用量 ▲2.4%	0.2%	×	各使用量 ▲6%
水道使用量	水道		▲5.0%	○	
燃料使用量	ガソリン		▲1.9%	×	
	灯油		▲10.4%	◎	
	軽油		3.6%	×	
	A重油		▲8.8%	◎	
LPG使用量	LPG		▲6.0%	◎	
廃棄物排出量	可燃ごみ袋	▲20.1%	◎		
グリーン製品 購入率	グリーン 購入	—	80%達成	—	100%達成
二酸化炭素 総排出量		▲2.4%	▲2.4%	○	▲6%

達成状況のうち、◎は H22 目標値達成項目、○は H19 目標値達成項目

2 個別結果

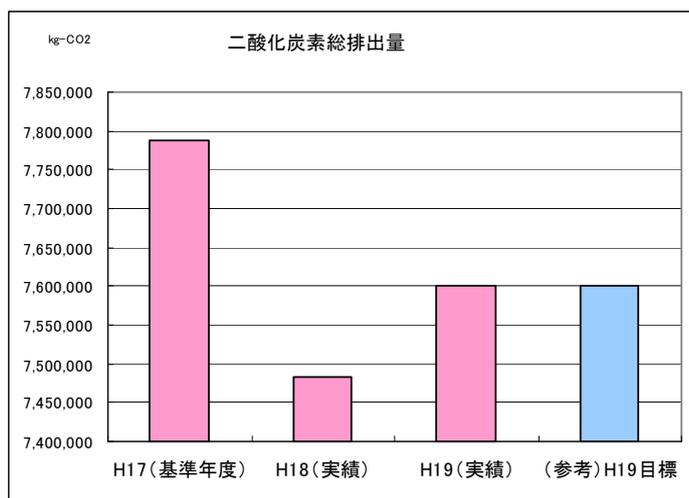
エコオフィスプランで削減目標を掲げている項目ごとの削減量・削減率を示します。

○二酸化炭素総排出量

平成17年度排出量	7,787,130 kg-CO ₂
平成18年度排出量	7,482,937 kg-CO ₂
平成19年度排出量	7,599,711 kg-CO₂
削減量(基準年度比)	-187,419 kg-CO₂
削減率(基準年度比)	-2.41%
(参考)平成19年度目標数値	7,600,200 kg-CO ₂

二酸化炭素総排出量は、基準年度である平成17年度に比べ、率にして約2.4%、排出量にして約187t削減しました。

総排出量の削減分のうち、約80%をA重油が占めています。

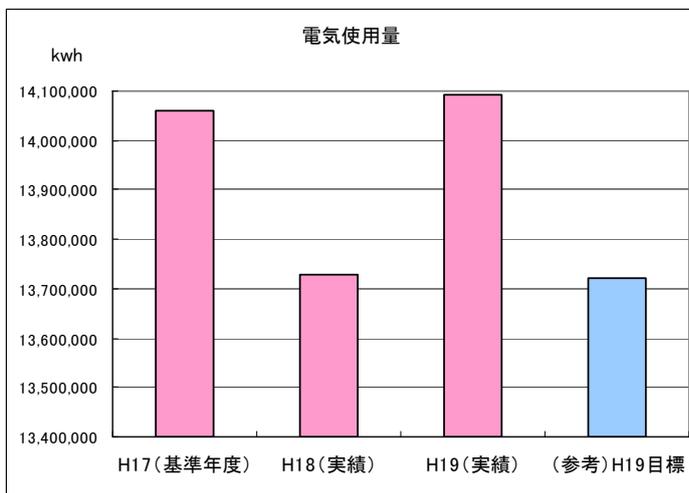


○電気使用量

平成17年度使用量	14,059,000 kwh
平成18年度使用量	13,727,530 kwh
平成19年度使用量	14,092,249 kwh
増加量(基準年度比)	33,249 kwh
増加率(基準年度比)	0.24%
(参考)平成19年度目標数値	13,721,600 kwh

電気使用量は、基準年度に比べ、率にして約0.2%使用量にして約33,000kwh増加しました。

平成18年度比では、病院施設における使用量増加が主な要因となっています。

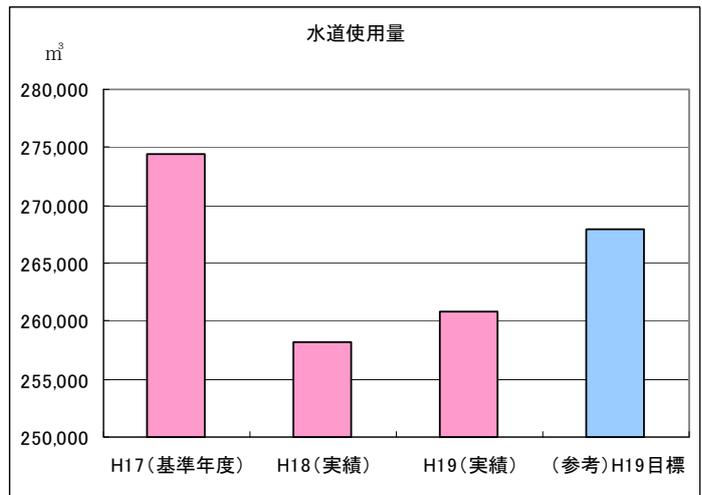


○水道使用量

平成17年度使用量	274,500 m ³
平成18年度使用量	258,149 m ³
平成19年度使用量	260,778 m³
削減量(基準年度比)	-13,722 m³
削減率(基準年度比)	-5.00%
(参考)平成19年度目標数値	267,900 m ³

水道使用量は、基準年度に比べ、率にして約5.0%使用量にして約13,700 m³削減しました。

基準年度比では、あいぱーくで使用量が増加したものの、深山浄苑、病院施設、冠山総合公園の使用量が大幅に減少したため、全体でも使用量が減少しましたが、平成18年度比では、本庁舎、下水道施設などが原因で使用量が増加しました。

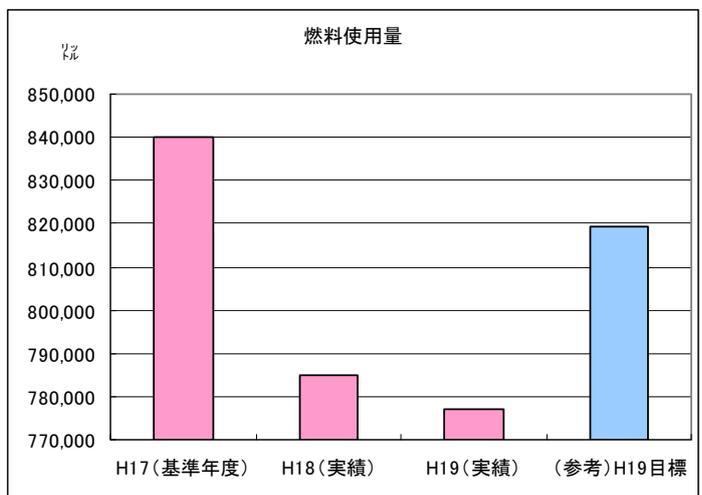


○燃料使用量 (ガソリン・灯油・軽油・A重油)

平成17年度使用量	839,645 ㍓
平成18年度使用量	784,883 ㍓
平成19年度使用量	776,854 ㍓
削減量(基準年度比)	-62,791 ㍓
削減率(基準年度比)	-7.48%
(参考)平成19年度目標数値	819,500 ㍓

燃料使用量は、基準年度に比べ、率にして約7.5%使用量にして約62,800 ㍓削減しました。内訳としては、ガソリンが1,611 ㍓、灯油が7,327 ㍓、A重油が55,680 ㍓の削減ですが、軽油は1,827 ㍓の増加となりました。

一方、平成18年度比では灯油4,294 ㍓、A重油5,840 ㍓を削減しましたが、ガソリンは374 ㍓、軽油は1,731 ㍓の増加となりました。



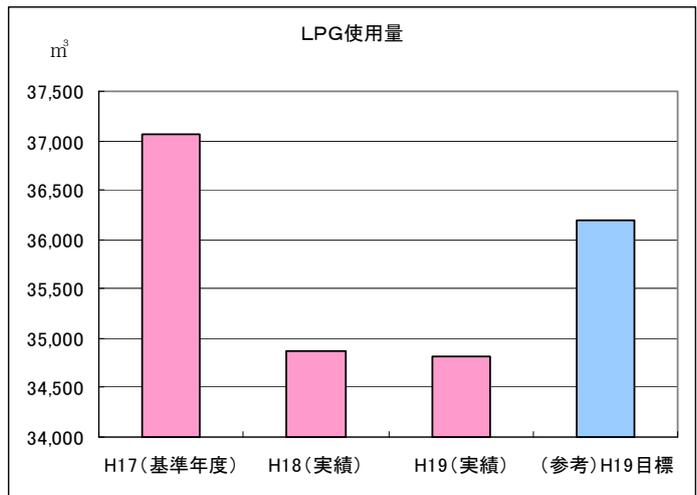
○LPG 使用量

平成17年度使用量	37,065 m ³
平成18年度使用量	34,878 m ³
平成19年度使用量	34,824 m³
削減量(基準年度比)	-2,241 m³
削減率(基準年度比)	-6.05%
(参考)平成19年度目標数値	36,200 m ³

LPG 使用量は、基準年度に比べ、率にして約 6.0% 使用量にして約 2,200 m³削減しました。

基準年度比では、本庁舎、病院施設、野外活動センター、塵芥収集車で減少したものの、保育園では増加となりました。

一方、平成 18 年度比における削減量は 54 m³と小幅なものとなりました。



○可燃ごみ袋

平成17年度使用量	35,600 袋
平成18年度使用量	32,195 袋
平成19年度使用量	28,420 袋
削減量(基準年度比)	-7,180 袋
削減率(基準年度比)	-20.17%
(参考)平成19年度目標数値	34,700 袋

可燃ごみ袋は、基準年度に比べ、率にして約 20% 使用量にして約 7,200 袋削減しました。

ごみ袋については、全ての施設において使用量が減少していますが、これは平成 19 年 4 月から指定

袋が変更となり、袋の容量がこれまでの 1.5 倍（「大」を使用の場合）となったことが要因と思われます。

